

1. 科目名 (単位数)	児童生徒指導論 (進路指導を含む) (初等) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2215 SJMP3215
2. 授業担当教員	金子 康一	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	講義、グループ討議、演習		
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。また、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むキャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。		
8. 学習目標	1. ガイダンスとカウンセリング機能の充実による生徒指導・進路指導・キャリア教育の意義や、原理を理解する。 2. 学級・学年・学校における生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育の考え方や指導の在り方を理解する 3. 生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	・期末テスト：現在の学校教育が抱える生徒指導上の今日の課題を取り上げ、その対応策について、キャリア教育の視点や学級経営の視点から論述する。 ・各講義のレジュメのまとめをする。 ・レポートの詳細 (内容、形式、分量、提出締め切り等) は、授業中に説明する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『生徒指導提要』教育図書 【参考書】 ・文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社 ・『生徒指導の研究 第四版』高橋哲夫著 教育出版		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 児童生徒指導の意義や役割が説明でき、諸問題への対応や改善策が考えられる。 ○評定の方法 演習課題 40%、学習記録・レスポンスシート 30%、受講態度 30%とする。		
12. 受講生へのメッセージ	児童・生徒の「生きる力」を育成するための学校教育において、教科等による「学習指導」と、全教育活動を通じての「生徒指導」は車の両輪であると言えます。後者の「生徒指導」は、社会情勢や家庭環境の変化に伴い児童・生徒の変容と課題が山積しています。教師を目指す皆さんにとって、生徒指導の理論と方法の理解と習得は欠くことの出来ない内容です。常に課題意識を持ち、積極的・意欲的に授業に臨むよう期待します。		
13. オフィスアワー	無し		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス 生徒指導の意義と原理 ・生徒指導の意義と課題 ・生徒指導と発達観や指導観他	事前学習	シラバス及び教科書 pp. 1~20 を通読し、生徒指導の意義等の概要をつかみ講義に臨む。
		事後学習	講義内容を基に、生徒指導の意義と課題や生徒指導の重要性についてまとめること。
第 2 回	教育課程と生徒指導 ・教科における生徒指導 ・教科外における生徒指導	事前学習	教科書 pp. 23~39 を通読してくる。
		事後学習	生徒指導が全教科等を通して実施されることをまとめ、自己課題を明確にすること。
第 3 回	児童生徒の心理と児童生徒理解 ・児童生徒理解の基本 ・児童生徒の心理と発達	事前学習	教科書 pp. 40~74 を通読してくる。
		事後学習	生徒指導は、児童生徒の心理と発達を理解して実施することの重要性をまとめること。
第 4 回	学校における生徒指導体制 ・生徒指導体制の基本的な考え方 ・生徒指導の組織—その役割と機能	事前学習	教科書 pp. 75~91 を通読してくる。
		事後学習	全校指導体制の確立の重要性についてまとめ、自己課題を明確にすること。
第 5 回	教育相談① ・教育相談の意義 ・教育相談の進め方	事前学習	教科書 pp. 92~126 を通読してくる。
		事後学習	学校における教育相談の重要性についてまとめ、自己課題を明確にすること。
第 6 回	教育相談② ・教育相談の技法と実際～DVD 視聴とグループワーク ・教育相談を進める上での配慮事項	事前学習	教育相談の進め方について pp. 98~117 を通読してくる。
		事後学習	学級担任が行う教育相談の技法と実際における自己課題を明確にすること。
第 7 回	生徒指導の進め方 ・生徒指導における教職員の役割 ・校内規律や安全に係わる問題	事前学習	教科書 pp. 127~151 を通読してくる。
		事後学習	生徒指導における教職員の役割や安全教育等についてまとめ自己課題を明確にする
第 8 回	個別の課題を抱える生徒への指導① ・問題行動の早期発見と効果的な指導 ・発達に関する課題と対応 ・喫煙、飲酒、薬物乱用、少年非行	事前学習	教科書 pp. 152~168 を通読してくる。
		事後学習	問題行動の早期発見と効果的な指導についてまとめ、自己課題を明確にすること。

第9回	個別の課題を抱える生徒への指導② ・いじめ、～DVD視聴とグループワーク ・暴力行為、インターネット、携帯電話	事前学習	教科書 pp.169～177 を通読してくる。
		事後学習	いじめや携帯電話等にかかわる適切な対応をまとめ、自己課題を明確にすること。
第10回	個別の課題を抱える生徒への指導③ ・性に関する問題、命の教育、児童虐待、 ・家出、不登校、中途退学	事前学習	教科書 pp.178～191 を通読してくる。
		事後学習	性に関する課題や家出、不登校等に関する対応をまとめ、自己課題を明確にすること。
第11回	生徒指導に関する法制度等 ・校則、懲戒と体罰、出席停止 ・非行少年の処遇	事前学習	教科書 pp.192～207 を通読すること。
		事後学習	生徒指導に関する法制度についてまとめ、自己課題を明確にすること。
第12回	進路指導・キャリア教育の理論と方法① ・進路指導の意義と性格 ・進路指導の実態と課題、展望	事前学習	自らの進路指導の成果と課題を整理すること。
		事後学習	進路指導の意義、指導の実態や課題等をまとめ、自己課題を明確にすること。
第13回	進路指導・キャリア教育の理論と方法② ・キャリア教育の背景・必要性 ・キャリア教育の基礎的な考え方	事前学習	進路指導とキャリア教育の違いを考察すること
		事後学習	キャリア教育の概要をまとめ、自己課題を明確にすること。
第14回	学校と家庭・地域・関係機関との連携 ・地域社会における児童生徒 ・学校を中心とした家庭や関係機関等との連携	事前学習	教科書 pp.208～225 を通読すること。
		事後学習	学校と家庭・地域・関係機関との連携の重要性を再確認し、自己課題を明確にすること。
第15回	学級担任・HR 担任の指導 ・生徒指導と学級担任の在り方、 ・学級経営・HR 経営と生徒指導の進め方 生徒指導論全体のまとめ	事前学習	教科書 pp.138～142 を通読すること。
		事後学習	学級担任・HR 担任の生徒指導における役割や指導のあり方をまとめる。 生徒指導全体から自己課題の明確化を図る
期末試験 有り			